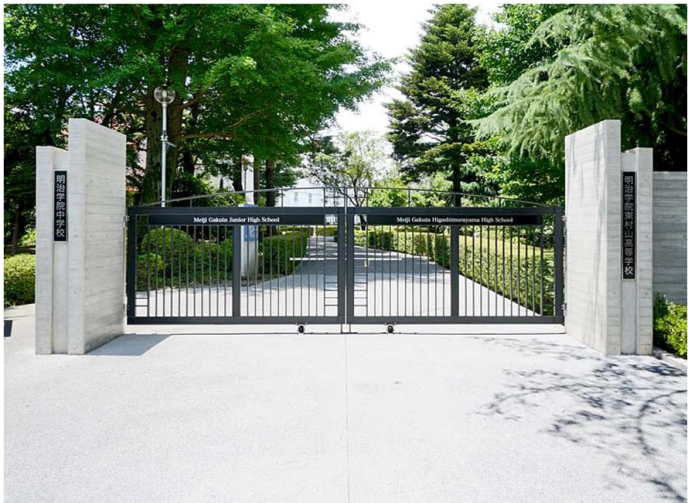


明治学院中学校・東村山高等学校 正門



明治学院は、ヘボン式ローマ字で有名な宣教師ヘボン博士が、1863年に創立した日本最古のミッションスクール。1963年に東村山高等学校（男子校）を開校し、現在は男女共学の中高一貫教育を行っている。

トイレ入口



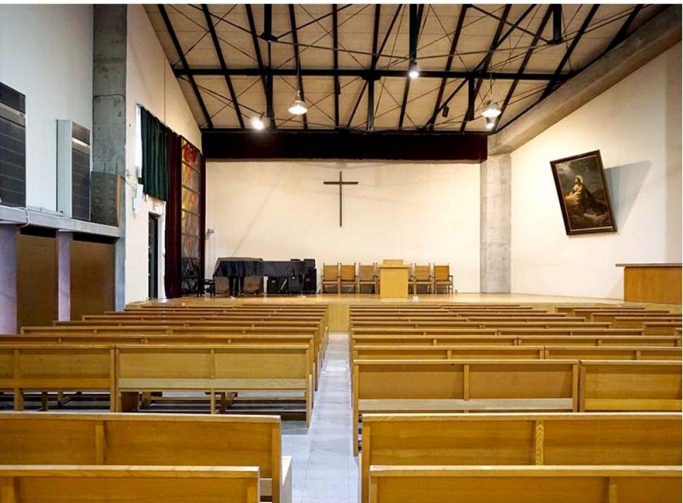
はっきりとした色分けと、大きなピクトグラムのトイレサインがわかりやすい入口。

女子トイレ 洗面コーナー



ゆったりとした間口に設置したツインデッキカウンターボウル一体タイプ。縦目がなく衛生的で清掃性にも優れている。2段のカウンターでドライエリアを設け、ポーチなどの小物の置き場所に配慮している。

内観



チャペルは1970年に竣工。約800名収容可能であり、毎朝生徒が集まり礼拝を行う。保護者会や入学希望者向けの学校説明会など、各種行事の際に会場としても使用している。

女子トイレ 全体



ダークブラウンの木目調パネルを基調とした空間。既存の窓を活かした明るく爽やかな女子トイレ。生徒から「ホテルのトイレみたい。」と評判になっている。また、照明は人感センサー式を採用。

女子トイレ スタylingコーナー



保護者から特に評判の良いスタイリングコーナーは、落ち着いた上質な空間を演出。左右の柔らかい光が顔全体を照らし、顔に影ができにくく、お化粧直しがしやすい空間になっている。

男子トイレ 大便器ブース



混雑時でも連続洗浄ができ、便器前寸法が確保しやすいパブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式にウォシュレットPS（発電するエコリモコンセット）を選定。手すりは男女トイレとも各1ブースに設置した。

改修前



改修前のトイレは、50年近く使用しているため老朽化が目立っていた。和式便器のみであり、生徒や来校者がチャペルを利用する際に、洋式便器を使いたいという声が多かった。

建築概要

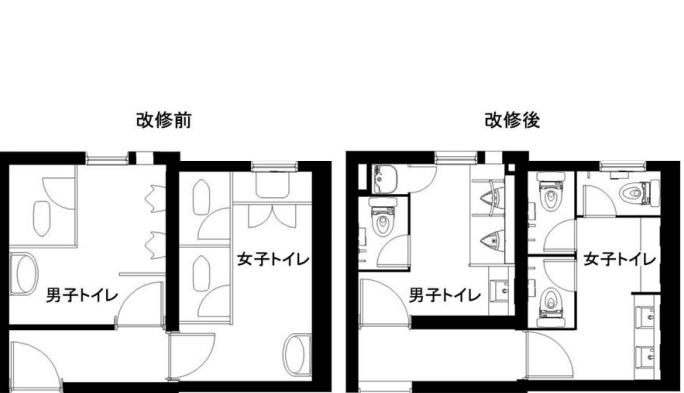
名 称	明治学院中学校・東村山高等学校 チャペル
所 在 地	東京都東村山市富士見町1-12-3
施 主	学校法人 明治学院
設 計	学校法人 明治学院
施 工	鹿島建設株式会社
竣 工 年 月	（改修）2018年3月

男子トイレ 小便器・洗面器コーナー



壁掛自動洗浄小便器（自己発電・節水タイプ）の足元には、防汚・防臭機能を備えたハイドロセラ・フロアを設置。洗面器は、女性トイレ同様、自己発電仕様の自動水栓をセットしたツインデッキカウンターとした。

トイレ図面



TOTOテクニカルセンターで空間検証を実施。省スペースタイプの器具を選定、さらにレイアウトの工夫により設置器具数を増やすことができた。

水まわりの特長

<施設の概要>
明治学院は、1863年にアメリカ人宣教師ジェームス・カーティス・ヘボンが横浜に開いた「ヘボン塾」を起源とする、日本最古のミッションスクール。1963年に東村山高等学校（男子校）を開校し、現在は中高一貫教育を行っている。チャペルは、高校生が毎朝礼拝を行うほか、各種行事の際に会場としても使用している。

<改修の経緯>
1970年竣工のチャペルのトイレは和式便器のみであった。そのため、特に受験生がチャペルを利用する際に、「校舎内の洋式便器を案内して欲しい。」という声が多かった。そこで、既存の条件（広さ・給水管・電気容量）のもとで最適な器具を選定するべく、TOTOテクニカルセンターにて器具確認および大便器ブースの広さや通路幅の空間検証を行った。

<トイレの特長>
改修を機に大便器はすべて洋式化し、清掃方法も湿式清掃から乾式清掃へ変更。給水管は既存のものを再利用するため、給水負荷が小さく、混雑時に同時・連続洗浄が可能なフラッシュタンク式を採用。また、電気容量に制約があったため、ウォシュレット・壁掛自動洗浄小便器および自動水栓は自己発電式タイプを選定している。